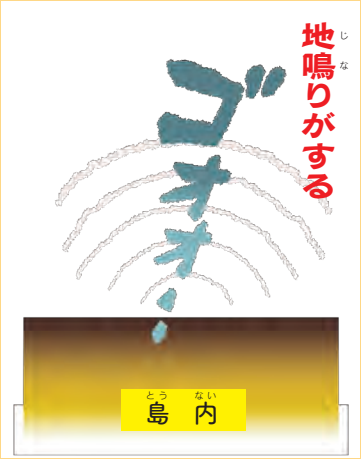
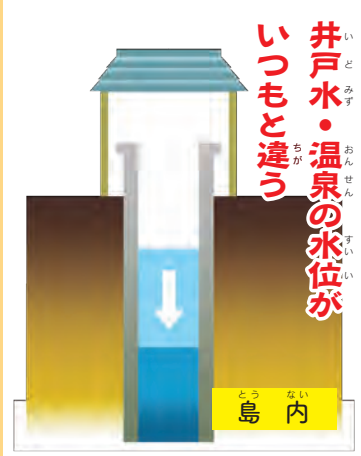
近い将来起こるといわれている大噴火に備えておこう

これから先も大噴火が起きることが予想されているから、いつ災害が起こっても備えておくことを確認していきましょう。

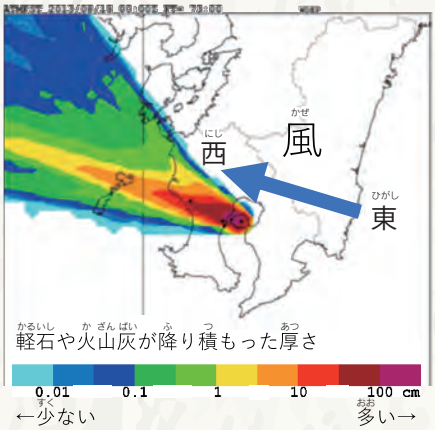
マンガに出ていたように大噴火の前にはいくつかの前兆があります。見逃さないようにしましょう。





夏など風向き次第で鹿児島市街地側にも影響が想定されます。

大量の軽石と火山灰が降る範囲（イメージ）



気象研究所 新堀敏基氏発表資料(2016)から作成

大噴火が起きそうな時には、あわてず、正しい情報を得て、落ち着いて行動しましょう。

前もって家の人と避難場所の位置や道順を話し合ったり、非常持出品を用意しておきましょう。

！家の人と確認しよう！

非常持出品の準備を

□懐中電灯　□予備の電池
□食料品　□飲料水
□ヘルメット　□くすり
□貴重品　□きがえ　など

大噴火が起きそうなときには

○気象台が発表する火山情報に注意
○市からの避難情報（避難指示など）に従う
○テレビやラジオ、防災無線などから正しい情報を得る
○デマやうわさにまどわされない

避難する場合には…

○噴石が降ってきたら、丈夫な建物に身を隠す

5問題

大噴火が起きて、風が東側から西側に吹いた場合、鹿児島市街地側にどのような影響がある？

① 大量の軽石や火山灰が降り積もる
② 溶岩が流れて陸続きになる
③ 特に影響はない